

参加
無料

忘れてはならない
人獣共通感染症：

エキノコックス症の 現状と課題

2026年

日時

4月12日 日

10:00

12:00

場所

北海道医師会館 8階会議室 (Web併用)
札幌市中央区大通西6丁目

お問い合わせ

北海道医師会事業第二課 ▶ TEL.011-231-1725
北海道獣医師会事務局 ▶ TEL.011-642-4826



Program

開会
挨拶 | 10:00
司会：北海道医師会 常任理事 荒木 啓伸
北海道医師会 会長 松家 治道
北海道獣医師会 会長 田村 豊

講演 | 10:10
座長：北海道医師会 常任理事 末岡 裕文

北海道におけるエキノコックス症の疫学 -動物間流行の現状、新たな懸念材料と今後の課題-

北海道大学大学院獣医学研究院 教授
野中 成晃 先生

ヒトにおけるエキノコックス症の 現状と課題

旭川医科大学内科学講座消化器内科学分野 講師
澤田 康司 先生

ディスカッション | 11:30

閉会

エキノコックス症はエキノコックス属の条虫による人獣共通感染症であり、成虫が終宿主であるキツネやイヌの小腸に寄生して虫卵を産出し、その卵をヒトなどの中間宿主が経口摂取することで幼虫（包虫）が体内で増殖して包虫症を引き起こします。そして、ヒトが感染すると通常10～20年の長い潜伏期間を経て黄疸などの症状が現れ、治療が困難になります。北海道では1936年に礼文島で多包虫症が確認され、対策事業で一時撲滅に成功しましたが、1965年の根室での新規患者報告や1980年代以降の分布拡大により北海道全域での定着が進み、現在でも年間20～30例が報告され、そのほとんどが北海道の症例とされています。エキノコックス症は、約90年にわたる歴史を持ちながら未だ撲滅していない感染症であり、北海道在住の医師にとっても獣医師にとっても忘れてはならない人獣共通感染症といえます。今回のワンヘルス連携シンポジウムでは、こうした現状と課題を整理して撲滅に向けた第一歩としたいと思います。

参加をご希望の方は、裏面の申込み方法をご確認ください。

※本シンポジウムの受講により、日本医師会生涯教育講座の以下の研修単位を取得できます。

1単位 [カリキュラムコード 8.感染対策、11.予防と保健]

※本シンポジウムは、2026年度（令和8年度）日本獣医師会獣医師生涯研修事業のポイント取得対象研修プログラムです。

主催：一般社団法人 北海道医師会 / 公益社団法人 北海道獣医師会 後援：北海道

【申込み方法】

受講形式

会場と会場からのWeb会議システム「Zoom」によるLIVE配信での受講がありますので、どちらか一方を選択してお申込みください。

受講定員

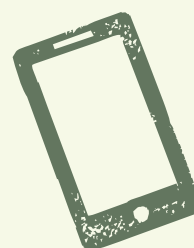
100名（北海道医師会館 8階会議室）
500名（Zoom参加）

参加対象

医師・獣医師・医療関係者・獣医療関係者・その他
※特に限定はいたしませんので、広くご参加ください。

申込方法

右記QRコードまたは
下記申込URLより受付フォームへ進み、
必要事項を入力してお申込みください。
申込後に招待メールを送信します。



申込URL

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_ySlcCDUCTLKxXfvEiU1GCw

※現地参加でご登録いただいた方にも自動的に確認メールが送信されますが、登録は完了しておりますので、当日に会場まで直接お越しください。

※ご連絡いただいたメール本文に上記申込URLを貼り付けて返信することも可能ですので、ご希望の方はお申し付けください。
(Eメール：2ka@m.doui.jp)



※迷惑メール防止のため受信設定をしている場合は、「@m.doui.jp」と「no-reply@zoom.us」からのメールが受信できるよう設定をお願いいたします。



申込締切

令和8年4月1日（水）

※定員となり次第、参加申込受付を終了いたします。

◎申込みいただいた際の個人情報は、原則として本シンポジウム関係者（担当役職員・講師等）でのみ共有し、それ以外に使用いたしません。

